

令和 7 年 度

印旛広域水道用水供給事業

下半期事業概要報告書

自 令和 7 年 10 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

一. 令和7年度下半期の事業概要

1. 事業の概要

下半期の用水供給量は、11,311,825 m³（一日平均62,153 m³）で前年度同期の用水供給量 11,397,461 m³（一日平均62,623 m³）との比較では85,636 m³（対前年度同期比0.75％）の減となっています。

なお、本年度下期の業務量は、次のとおりです。

区 分	令和7年度下半期 (m ³)	令和6年度下半期 (m ³)	増 減 (m ³)	前年度比 (%)
取 水 量	11,815,430	11,898,520	△ 83,090	△ 0.70
送 水 量	11,317,285	11,402,921	△ 85,636	△ 0.75
有 収 水 量	11,311,825	11,397,461	△ 85,636	△ 0.75

2. 経理の状況

収益的収支については、事業収益2,005,171,200円（消費税及び地方消費税込み）に対し、事業費用は、2,240,068,444円（消費税及び地方消費税込み）となりました。

事業収益の内訳は、営業収益1,900,239,537円、営業外収益104,931,663円となっています。

また、事業費用の内訳は、営業費用2,218,565,213円、営業外費用13,084,758円及び特別損失8,418,473円となりました。

なお、前年度同期の事業収益（1,992,571,361円）との比較では12,599,839円（対前年度同期比0.63％）の増収となり、また、前年度同期の事業費用（2,074,950,327円）との比較では165,118,117円（対前年度同期比7.96％）の増額となっています。

一方、資本的収支については、資本的収入額706,602,000円に対し、資本的支出額は1,332,390,123円となりました。

資本的収入の内訳は、企業債が234,900,000円、国庫補助金が234,779,000円、出資金が236,923,000円となっています。また、資本的支出の内訳は、新設工事費が715,125,550円、建設改良費が471,246,826円、企業債償還金が122,489,619円、年賦償還金が7,007,244円、国庫補助金返還金が16,520,884円となりました。

(1) 収益の収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
事 業 収 益	4,014,115,000	1,982,842,360	2,005,171,200	26,101,440	50.0
営業収益	3,814,906,000	1,905,341,671	1,900,239,537	9,324,792	49.8
営業外収益	199,209,000	77,500,689	104,931,663	16,776,648	52.7

支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
事 業 費 用	4,108,635,000	1,822,030,088	2,240,068,444	46,536,468	54.5
営業費用	4,063,234,000	1,808,219,442	2,218,565,213	36,449,345	54.6
営業外費用	26,909,000	13,810,646	13,084,758	13,596	48.6
特別損失	8,492,000	0	8,418,473	73,527	99.1
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

(2) 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合計				
資 本 的 収 入	708,930,000	0	0	708,930,000	2,328,000	706,602,000	0	99.7
企業債	234,900,000	0	0	234,900,000	0	234,900,000	0	100.0
国庫補助金	234,779,000	0	0	234,779,000	0	234,779,000	0	100.0
出資金	239,251,000	0	0	239,251,000	2,328,000	236,923,000	0	99.0

支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計				
資 本 的 支 出	1,931,090,000	0	120,102,948	2,051,192,948	347,574,234	1,332,390,123	371,228,591	65.0
新設工事費	715,585,000	0	120,102,948	835,687,948	1,653,600	715,125,550	118,908,798	85.6
建設改良費	730,839,000	0	0	730,839,000	17,274,145	471,246,826	242,318,029	64.5
企業債償還金	244,189,000	0	0	244,189,000	121,698,710	122,489,619	671	50.2
年賦償還金	13,956,000	0	0	13,956,000	6,947,779	7,007,244	977	50.2
国庫補助金返還金	16,521,000	0	0	16,521,000	0	16,520,884	116	100.0
投資	200,000,000	0	0	200,000,000	200,000,000	0	0	0.0
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

3. 工 事

(1)改良工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日 (予定年月日)
電磁式水道メーター 更新工事(その1)	1. φ250mm電磁式水道メーター更新工 2台 2. φ150mm電磁式水道メーター更新工 5台 3. 試運転調整 1式	40,663,700 (77,000,000)	R6.10.29	R7.9.22
佐倉市南部供給地点 等圧力・流量調節弁 更新工事	1. 佐倉市南部供給地点 φ250mm電動ロート弁等更新工 2基 2. 印西市印旛供給地点 φ150mm電動ロート弁等更新工 2基 3. 試運転調整 1式	286,000,000 (286,000,000)	R6.10.29	R8.3.14
船形分岐地点及び成 田市山口供給地点計 装設備更新工事	1. 船形分岐地点計装設備工事 1式 2. 成田市山口供給地点計装設備工事 1式 3. 北総浄水場側設備機能改造工事 1式 4. 印東加圧ポンプ場側設備機能改造工事 1式	0 (253,000,000)	R7.3.31	(R9.3.17)
鹿島川水管橋フェン ス更新工事	1. フェンス更新工 1式 2. 舗装工 1式	16,830,000	R7.10.10	R8.3.13
四街道市第2供給地 点等圧力・流量調節 弁更新工事	1. 四街道市第2供給地点 φ150mm電動ロート弁等更新工 2基 2. 四街道市第3供給地点 φ150mm電動ロート弁等更新工 1基 3. 試運転調整 1式	0 (210,100,000)	R7.10.29	(R9.3.18)
電磁式水道メーター 更新工事(その2)	1. φ150mm電磁式水道メーター更新工 4台 2. φ200mm電磁式水道メーター更新工 2台 3. 試運転調整 1式	25,358,602 (51,975,000)	R7.11.12	(R9.3.12)

(注)工事費の()書きは工事費総額であり、上段は当該年度執行分である。

(2)保存工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日
富里分岐地点空気弁 室緊急修繕工事に伴 う本復旧工事	1. 舗装仮復旧工 1式 2. 舗装本復旧工 1式	4,840,000	R8.1.9	R8.3.31

二. 令和7年度印旛郡市広域市町村圏事務組合

水道用水供給事業損益計算書(消費税及び地方消費税抜き表示)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

各項目の上段()内は、令和7年度下期の数値を示す。

(単位:円)

1 営業収益			
	(1,727,490,513)	(1,727,490,513)	
(1) 給水収益	<u>3,459,619,331</u>	3,459,619,331	
2 営業費用			
	(1,382,773,983)		
(1) 原水及び浄水費	2,599,837,035		
	(234,843,080)		
(2) 送水費	304,378,365		
	(72,327,391)		
(3) 総係費	119,253,490		
	(349,903,059)		
(4) 減価償却費	699,895,491		
	(19,072,928)	(2,058,920,441)	
(5) 資産減耗費	<u>19,072,928</u>	<u>3,742,437,309</u>	
			(331,429,928)
営業損失			282,817,978
3 営業外収益			
	(629,000)		
(1) 他会計補助金	915,000		
	(2,915,794)		
(2) 受取利息及び配当金	3,721,794		
	(76,766,474)		
(3) 長期前受金戻入	152,878,270		
	(2,261,835)	(82,573,103)	
(4) 雑収益	<u>2,539,201</u>	160,054,265	
4 営業外費用			
	(12,961,916)		
(1) 支払利息	26,772,562		
	(452,802)	(13,414,718)	(69,158,385)
(2) 雑支出	<u>452,802</u>	<u>27,225,364</u>	<u>132,828,901</u>
			(262,271,543)
経常損失			149,989,077
5 特別損失			
	(8,418,473)	(8,418,473)	(△8,418,473)
(1) その他特別損失	<u>8,418,473</u>	<u>8,418,473</u>	<u>△8,418,473</u>
当年度純損失			(270,690,016)
			158,407,550
			(△24,270,117)
前年度繰越利益剰余金			0
			(244,188,329)
その他未処分利益剰余金変動額			244,188,329
			(△50,771,804)
当年度未処分利益剰余金			<u>85,780,779</u>

三. 令和7年度印旛郡市広域市町村圏事務組合
水道用水供給事業貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き表示)
(令和8年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ. 土 地		300,735,514	
ロ. 建 物	299,124,038		
減価償却累計額	△ 186,993,889	112,130,149	
ハ. 構 築 物	15,763,302,393		
減価償却累計額	△ 10,719,385,744	5,043,916,649	
ニ. 機 械 及 び 装 置	3,917,610,468		
減価償却累計額	△ 2,818,636,824	1,098,973,644	
ホ. 工具器具及び備品	5,428,980		
減価償却累計額	△ 3,551,528	1,877,452	
ヘ. 建 設 仮 勘 定		1,673,628,393	
有形固定資産合計			8,231,261,801

(2) 無 形 固 定 資 産

イ. ダ ム 使 用 権		10,958,121,707	
ロ. 電 話 加 入 権		547,100	
ハ. その他無形固定資産		402,305	
無形固定資産合計			10,959,071,112

(3) 投資その他の資産

イ. 前払退職手当負担金		110,958,118	
ロ. 投資有価証券		600,000,000	
投資その他の資産合計			710,958,118
固 定 資 産 合 計			19,901,291,031

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		4,601,290,965	
(2) 未 収 金		351,074,701	
(3) 貯 蔵 品		2,557,850	
(4) 前 払 金		70,660,000	
(5) 立 替 金		99	
流動資産合計			5,025,583,615

資 産 合 計			24,926,874,646
---------	--	--	----------------

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

2,355,980,457

2,355,980,457

企業債合計

(2) 年賦未払金

74,719,999

固定負債合計

2,430,700,456

4 流動負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

241,962,372

241,962,372

企業債合計

(2) 年賦未払金

14,194,924

(3) 未払金

415,490,488

(4) 引当金

イ. 賞与引当金

17,030,000

17,030,000

引当金合計

(5) その他流動負債

イ. 預り諸税等

5,105

5,105

その他流動負債

流動負債合計

688,682,889

5 繰延収益

(1) 長期前受金

10,656,042,475

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 6,076,109,371

繰延収益合計

4,579,933,104

負債合計

7,699,316,449

資本の部

6 資本金

15,136,588,348

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ. 国庫補助金

182,318,901

ロ. その他資本剰余金

444,289,033

資本剰余金合計

626,607,934

(2) 利益剰余金

イ. 減債積立金

1,378,581,136

ロ. 当年度未処分利益剰余金

85,780,779

利益剰余金合計

1,464,361,915

剰余金合計

2,090,969,849

資本合計

17,227,558,197

負債・資本合計

24,926,874,646

注 記 表

I 重要な会計方針

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・定額法

・主な耐用年数

建物:65年、構築物:40年、機械及び装置:15年、器具及び備品:5～15年

(2) 無形固定資産

・定額法

3 引当金の計上基準

(1) 退職手当給付引当金

当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と千葉県市町村総合事務組合への積立額を比較したところ、積立額が要支給額を超える負担額となっており、前払費用として前払退職手当負担金を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費の支払に備えるため、本年度末における支給見込額に基づき、本年度の負担に属する額を計上している。

4 消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II 貸借対照表

1 賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和7年度において、期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費を支出するため、14,708千円を取り崩している。

四. 令和8年度予算の概要

1. 予算の概要

令和8年度予算は、水道用水供給量23,065,100m³（一日平均63,192m³）で前年度比104,600m³（△0.45%）の供給量減となっています。

資本的支出の新設工事費は、霞ヶ浦導水建設事業の負担金等を計上しました。建設改良費は、「船形分岐地点及び成田市山口供給地点計装設備更新工事」（令和6年度～令和8年度）、「四街道市第2供給地点等圧力・流量調節弁更新工事」（令和7年度～令和8年度）等を計上しました。

収益的収入及び支出

収入

（単位：円）

区分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減
事業収益	4,123,059,000	4,022,806,000	100,253,000
営業収益	3,931,271,000	3,828,597,000	102,674,000
営業外収益	191,788,000	194,209,000	△ 2,421,000

支出

区分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減
事業費用	4,098,140,000	3,946,430,000	151,710,000
営業費用	4,058,526,000	3,899,953,000	158,573,000
営業外費用	23,527,000	26,858,000	△ 3,331,000
特別損失	6,087,000	9,619,000	△ 3,532,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

資本的収入及び支出

収入

区分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減
資本的収入	583,442,000	708,617,000	△ 125,175,000
企業債	192,900,000	234,500,000	△ 41,600,000
国庫補助金	192,910,000	234,666,000	△ 41,756,000
出資金	197,632,000	239,451,000	△ 41,819,000

支出

区分	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減
資本的支出	1,689,632,000	1,985,408,000	△ 295,776,000
新設工事費	598,378,000	723,222,000	△ 124,844,000
建設改良費	603,752,000	777,309,000	△ 173,557,000
企業債償還金	241,963,000	244,189,000	△ 2,226,000
年賦償還金	14,195,000	13,956,000	239,000
国庫補助金返還金	21,344,000	16,732,000	4,612,000
投資	200,000,000	200,000,000	0
予備費	10,000,000	10,000,000	0

2. 事業の経営方針

当組合は、構成団体の早期供給要望に対し、浄水場等基幹施設の建設を先送りし、千葉県企業局への浄水加工委託により、昭和57年度に一部給水を開始し、平成5年度から全構成団体へ供給となっております。

また、平成17年度から「水道施設の使用及び業務委託に関する協定書」を締結し、千葉県企業局の行政財産の使用許可及び浄水処理等の業務委託による方式に改めたものがあります。

経営状況ですが、令和7年度においては、158,407,550円の純損失となりました。物価上昇等の影響を受け、営業費用等が大きく上昇したことが要因となっております。

さらに、今後は資本費の負担や施設の更新事業費が多大に見込まれ、厳しい経営を余儀なくされることが想定されます。

組合としては、可能な限りの費用抑制に取り組みながらも、適宜、水道料金の適正化の検討を行うなど健全な運営を行えるよう努めてまいります。

また、今後も水道用水の供給を安定して行うため、将来の水需要を的確に把握し、事業運営を効率的に行っていきます。